

目 次

第 1 講	先史の世界と古代オリエント	2
第 2 講	ギリシア世界	10
第 3 講	ローマ帝国	18
第 4 講	アジア・アメリカの古代文明(1)	26
第 5 講	アジア・アメリカの古代文明(2)	34
第 6 講	東アジア世界の形成と発展(1)	42
第 7 講	東アジア世界の形成と発展(2)	50
第 8 講	東アジア世界の形成と発展(3)	58
第 9 講	東アジア世界の形成と発展(4)	66
第 10 講	イスラーム世界の形成と発展	74
第 11 講	ヨーロッパ世界の形成と発展	82
第 12 講	ヨーロッパ封建社会の変動	90
第 13 講	近代ヨーロッパの誕生	98
第 14 講	ヨーロッパ近代国家の形成(1)	106
第 15 講	ヨーロッパ近代国家の形成(2)	114
一問一答①～⑮		122

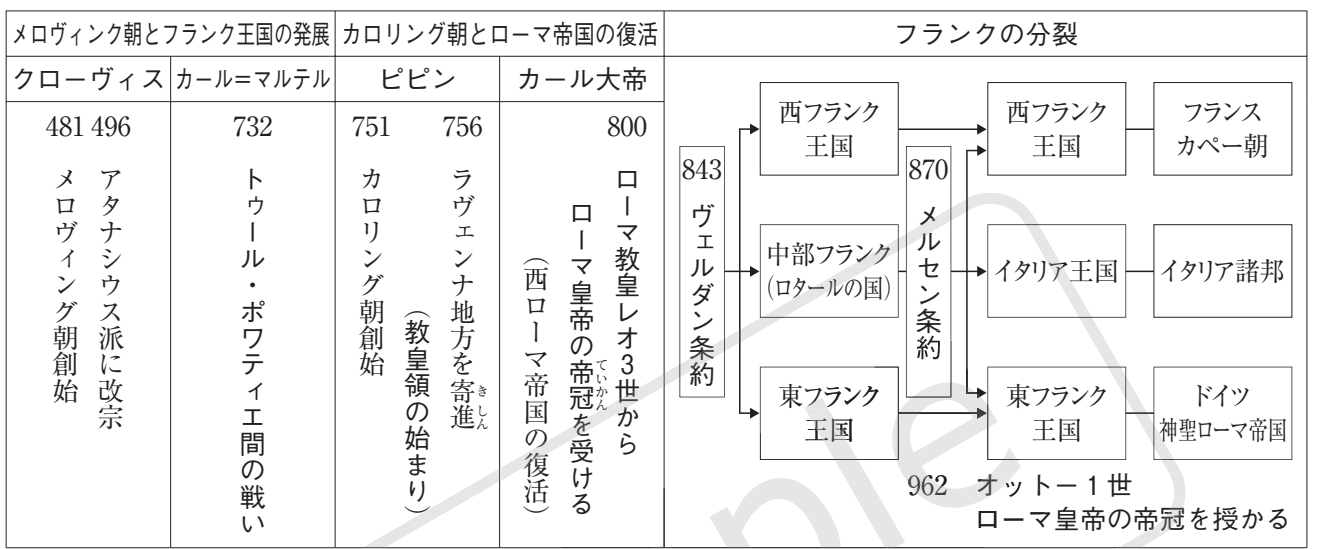
第11講 >>> ヨーロッパ世界の形成と発展

基礎学習

- [] の中に適切な語句を入れて、要点を整理しよう。(解答は解答解説 P.21)

1 西ヨーロッパ世界の成立

この講の流れ図



(1) ヨーロッパの風土と人びと

- ① 気候……大西洋に面した地方は冬温暖・夏冷涼で牧畜を伴う穀物栽培に適す。東部は寒冷な [] 気候になり、南部は夏が暑くて乾燥する [] 気候に属す。
- ② 民族……言語的には、[] 語族の西方系の言語を話す民族で、しばしば東方からウラル・アルタイ系の民族が移動してきた。

(2) ゲルマン人の大移動

① 大移動前のゲルマン人

- 原住地……ゲルマン人は [] 沿岸を原住地とし、先住の [] 人を西方に圧迫しながら拡大、紀元前後には黒海～ライン川に進出、ローマ帝国の北辺に接するようになった。ローマ帝政後期にはローマの下級官吏・傭兵・コロヌスとして帝国内に移住するゲルマン人も多かった。
- 社会……貴族・平民・奴隷の身分が分化し、全成年男子自由民からなる [] が最高決定機関であった。
- 原始ゲルマン社会の記録……紀元前後のゲルマン社会については、カエサル『[]』、タキトゥスの『[]』にその記述がある。

- ② 大移動の原因……アジア系の [] 人が西進して、ゲルマン人の一派である東ゴート人の大半を征服、これに恐怖した西ゴート人が375年に南下をはじめ、翌年大挙してローマ帝国内に移住した。これをきっかけに [] が始まった。

- ③ ゲルマン諸国家の成立……[] 人は410年ローマを略奪後イベリア半島で建国。[] 人は北アフリカで建国。[] 人はガリア(現在のフランス)東南部で建国。[] 人はガリア北部で建国。アングロ=サクソン人はブリタニアで [] (ヘプターキー)を建国。

- ④ フン人の定着……5世紀に [] がフン諸部族を統一して大帝國をつくったが、451年 [] の戦いで西ローマ・ゲルマン連合軍に敗れ、王の死後帝國は崩壊した。

- ⑤ 西ローマ帝國の滅亡

- 西ローマ帝国の滅亡……476年ゲルマン人傭兵隊長 [] によって滅亡した。
- 東ゴート人…… [] に率いられてフン人の支配から脱し、オドアケルの王国を倒してイタリア半島に建国した。東ゴート王国が6世紀半ばにビザンツ帝国(ユスティニアヌス帝)に滅ぼされた後、568年に北イタリアに [] 王国が建てられた。

(3) フランク王国の発展

- ① 481年、メロヴィング家のクロヴィスが全フランク人を統一しメロヴィング朝を創始した。496年クロヴィスは異端のアリウス派キリスト教から正統の [] 派に改宗し、ローマ教会やローマ系住民との協力が可能となった。
- ② 宮宰カール=マルテル……西ゴート王国を滅ぼしガリアに侵入してきたウマイヤ朝イスラーム教徒を、732年 [] の戦いで撃退した。
- ③ カール=マルテルの子ピピンは751年メロヴィング朝を廃して即位し、 [] 朝を創始し、これを支持したローマ教会にランゴバルト王国を攻撃し獲得したラヴェンナ地方を献上した。

(4) ローマ=カトリック教会の成立

- ① 教会組織……ローマ帝政末期には、 [] とよばれるローマ・コンスタンティノーブル・アンティオキア・イェルサレム・アレクサンドリアの5教会が重要となっていたが、なかでもローマ教会とコンスタンティノーブル教会が最有力となっていた。
- ② ローマ教会の布教……西ローマ帝国滅亡後、ローマ教会は教皇 [] 以来ゲルマン人への布教を積極的に行った。また6世紀ベネディクトゥスがモンテ=カシノで開いて以来各地に広まった [] は民衆の教化に貢献した。
- ③ 東西教会の分裂……726年、ビザンツ皇帝レオン3世は [] 令を發布、ローマ教会と対立を深めた。ローマ教会はビザンツ皇帝に対抗できる保護者を求めてフランク王国に接近、ピピンの即位を認め代償にピピンからラヴェンナ地方を献上された。これが [] の始まりである。

(5) カール大帝

- ① カール大帝の西ヨーロッパ統一……ピピンの子カール大帝(シャルルマーニュ)はイタリア半島の [] 王国を征服、北東のザクセン、東のモンゴル系のアヴァール人、南のイスラーム教徒を撃退(スペインに遠征し後ウマイヤ朝と抗争)、ゲルマン諸部族をローマ=カトリックに改宗させ、西ヨーロッパ主要部分の大半を統一した。
- ② カールの戴冠……800年ローマ教皇 [] はカール大帝にローマ皇帝の帝冠を与え、西ローマ帝国の復活を宣言した。このことをカールの戴冠といい、ここにローマ以来の古典古代文化・ゲルマン人・キリスト教が融合した [] が誕生した。

STEP UP! カールの戴冠

カールの戴冠は形式的には西ローマ帝国の復活であるが、実質的にはローマ文化・ゲルマン文化・キリスト教文化の3要素が同化した新しい国家の誕生と西ヨーロッパ世界の成立を意味する。東ローマ帝国(ビザンツ帝国)に対抗する大勢力が生まれたことにより、ローマ教会はビザンツ皇帝への従属から独立し、のち11世紀にキリスト教世界は、教皇を首長とするローマ=カトリック教会とビザンツ皇帝を首長とするギリシア正教会の二つに完全に分裂することになる。

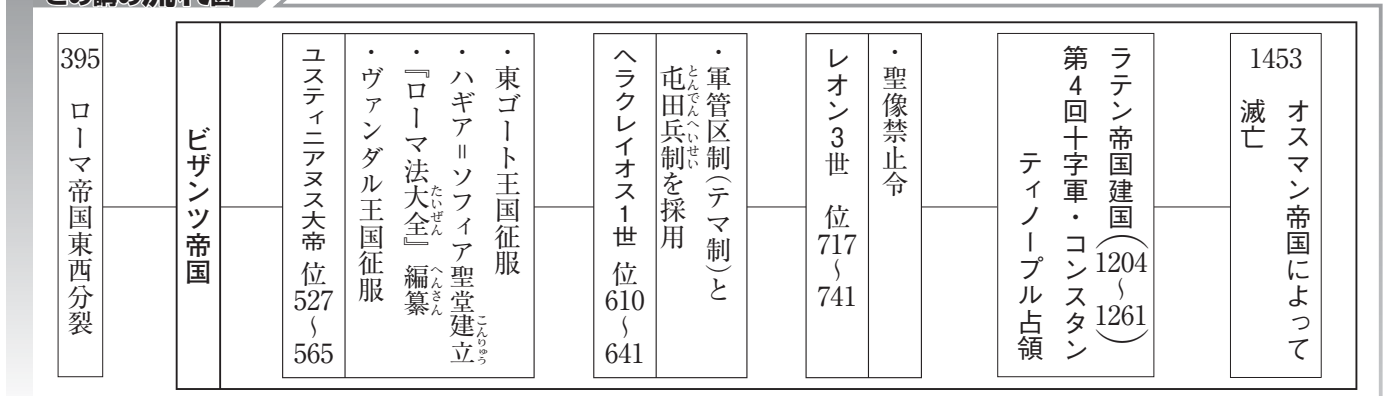
(6) 分裂するフランク王国

- ① 分裂……カール大帝の死後、内紛がおこり、843年の [] 条約と870年の [] 条約で帝国は東フランク・西フランク・イタリアの3つに分裂した。
- ② 東フランク(ドイツ)……911年カロリング朝は断絶、ザクセン家の [] はウラル系のマジャール人やスラヴ人を撃退、北イタリアを制圧し、962年教皇からローマ皇帝の帝冠を授けられた。これが [] の始まりである。
- ③ 西フランク(フランス)……987年カロリング朝は断絶、パリ伯ユーグ=カペーが即位して [] 朝が成立。

- ④ イタリア……875年カロリング朝は断絶, [] の介入やイスラーム勢力の侵入で混乱が続く。
- (7) ノルマン人の活躍
- ① ノルマン人……スカンディナヴィア半島・ユトランド半島を原住地とし, 8世紀後半からヨーロッパ各地に海上遠征を行い, [] と恐れられた。
- ② ノルマンディー公国……911年, 首長 [] が率いる一派は北フランスにノルマンディー公国を建国。ここからさらに分かれた一派が12世紀前半シチリア島と南イタリアに侵入し, [] 王国を建国。
- ③ イングランド征服……ノルマン人の侵入にさらされていたブリテン島は, 9世紀末 [] が一時これを撃退したが, 1016年 [] に征服された。その後1066年 [] が王位継承を主張してブリテン島に侵入, イングランド軍を破りウィリアム1世として即位し, ノルマン朝を創始。
- ④ ロシア……リューリクを首長とする一派はドニエプル水系のスラヴ人地域に進出, 9世紀に [] 国を, 次いで [] 公国を建国し, ロシアの起源となった。
- (8) 封建社会の成立
- ① 封建的主従関係……外民族の侵入が相次ぎ, 人びとは自衛のため身近な強者に土地を託して主従関係を結んだ。このような土地(封土)の授受を中心形成された領主相互間の主従(君臣)関係を封建的主従関係という。封建的主従関係は, ローマ末期の [] とゲルマン人の [] に起源があり, この封建的主従関係と荘園の二つのしくみの上に成り立つ社会を封建社会という。封建的主従関係をもつ有力者たちは, それぞれ大小の領土を所有し, 農民を支配する領主であった。彼ら領主の中でも多くの [] を従えた大諸侯は国王にならぶ権力をもって自立していた。
- ② 荘園の構造……領主の個々の所有地を荘園といい, [] ・領主直営地・共同利用地からなっていた。領主は国王の役人が荘園に立ち入ったり課税したりするのを拒む [] をもち, 農民を領主裁判権によって裁くなど, 荘園と農民を自由に支配することができた。
- ③ 農奴……土地に緊縛された不自由農民で, 領主直営地を耕作する [] , 農民保有地からの生産物を納める [] などの負担を負った。
- (9) ローマ=カトリック教会の成長
- ① 階層制組織……教皇を頂点に大司教・司教・司祭・修道院長など, 聖職者はピラミッド型の序列が定められ, 教会は農民に対しては [] をとりたてた。
- ② 叙任権闘争
- 教会改革運動……聖職売買などの教会の世俗化に対して, [] を中心に教会改革運動がおこる。
 - カノッサの屈辱……聖職叙任権の保有を主張した神聖ローマ皇帝 [] に対して教皇 [] は破門をもって応じ, 皇帝は教皇に謝罪した。その後1122年ヴォルムス協約で皇帝は聖職叙任権を失い, 教皇権は13世紀の [] のとき絶頂に達した。

2 東ヨーロッパ世界の成立

この講の流れ図



(1) ビザンツ帝国の繁栄と衰亡

- ① ローマ帝国の分裂……ビザンツ帝国(東ローマ帝国)は [] を首都とし、ゲルマン人の大移動の混乱からまぬがれ、**商業と貨幣経済**、古典文化を存続させた。
- ② ユスティニアヌス大帝……北アフリカのヴァンダル王国、イタリアの東ゴート王国を征服し、地中海の再統一を達成し、『[]』の**編纂**、[] 聖堂の建立などの事業を行った。
- ③ **衰退**……大帝の死後イタリア・シリア・エジプトを喪失、バルカン半島ではスラヴ人の移住と**アジア系遊牧民**の [] の建国で支配圏は縮小、11世紀に東方から [] 朝の圧迫を受け、13世紀前半には十字軍に首都を奪われて [] 帝国を建てられた。1453年に [] 帝国の侵攻によって滅亡。
- (2) **ビザンツ帝国の社会と文化**
- ① **社会**……7世紀以降異民族の侵入に対処するため、**屯田兵制**を基礎とし軍管区司令官に軍事と行政の権限を与える [] 制度がしかれ、これにより中央集権化が進んだがしだいに大土地所有制が進展し、11世紀には軍役奉仕と引きかえに貴族に領地を与える [] 制が採用された。
- ② **ビザンツ文化**……ギリシア語が公用語、ドームとモザイク壁画を特徴とする [] 様式が発達。
- (3) **スラヴ人と周辺民族の自立**
- ① **東スラヴ人**(ロシア人、ウクライナ人など)
- ノヴゴロド国、キエフ公国……9世紀にスウェーデン系ノルマン人が建国してスラヴ化。10世紀末キエフ公国の [] がギリシア正教に改宗、全盛期をむかえたが、その後農民の**農奴化**と貴族の大土地所有が進み、13世紀バトゥに率いられた**モンゴル人**が侵入、南ロシアに [] =ハン国が建国されるとこれに屈服した。
 - モスクワ大公国……15世紀、商業都市モスクワを中心にモスクワ大公国が台頭、大公 [] のときモンゴルの支配から脱し、 [] (皇帝)の称号を用いた。
- ② **南スラヴ人**(セルビア人、クロアチア人、スロヴェニア人)
- セルビア人…… [] に改宗、14世紀にはバルカン半島の強国となった。
 - クロアチア人・スロヴェニア人…… [] に改宗した。
- ③ **西スラヴ人**(ポーランド人、チェック人、スロヴァキア人)……ローマ=カトリックに改宗した。
- ポーランド人……ドイツ騎士団に対抗するため、14世紀、リトアニア人と合体して [] 朝リトアニア=ポーランド王国が成立。
 - チェック人……10世紀にベーメン王国を統一した。
- ④ **アジア系民族**(ブルガール人、マジャール人)
- ブルガール人……7世紀にバルカン半島北部で建国、その後スラヴ化してギリシア正教に改宗した。
 - マジャール人……10世紀末に [] 王国を建国、ローマ=カトリックに改宗した。

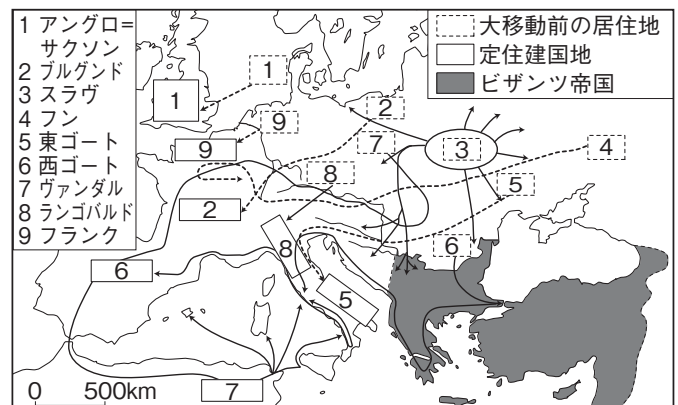
point

ゲルマン人の大移動とスラヴ人の移住

ゲルマン人の大移動については、どのゲルマン人部族が最終的にどこに建国したかをきちっと覚えておこう。

西ゴート：イベリア半島、東ゴート：イタリア半島、ヴァンダル：北アフリカ、ブルグンド：東南ガリア、フランク：北ガリア、アングロ=サクソン：ブリテン島、ランゴバルド：北イタリア

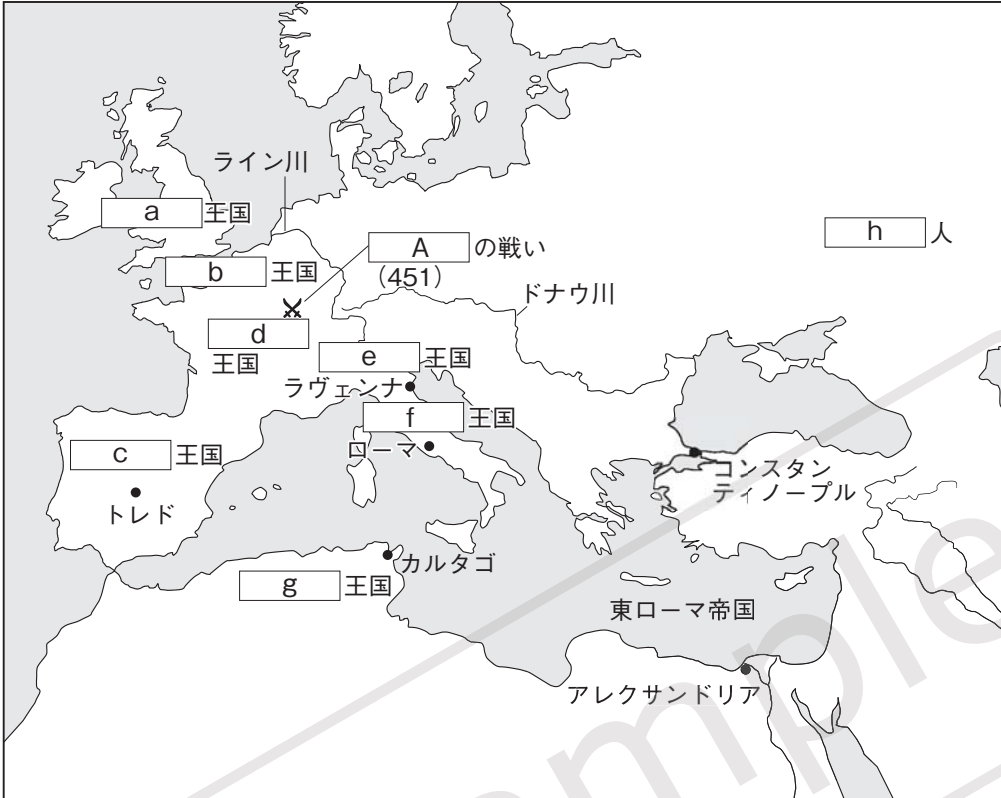
また、ゲルマン人が建国したのはおもに西ローマ帝国内であって、ビザンツ帝国はゲルマン人よりもスラヴ人の移住の影響を受けたことにも注意しよう。



確認問題

1 次の地図中の a～h にあてはまる国家または民族の名称, A にあてはまる戦いの名称を書け。

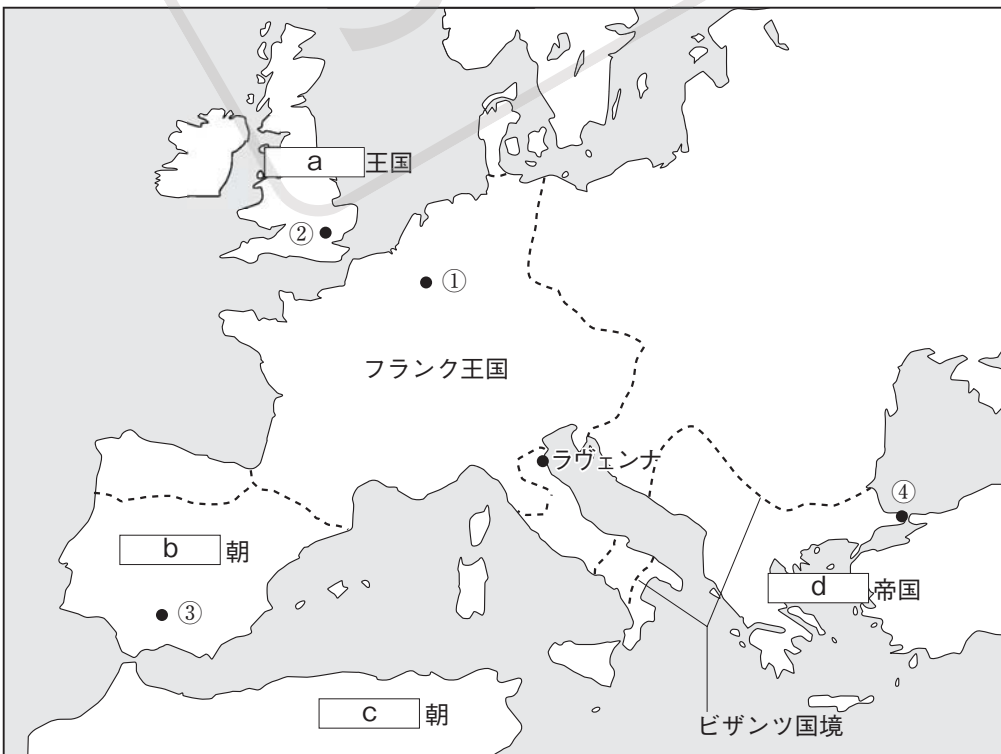
▼ゲルマン人の国家



- 1**
- a _____ 王国
 - b _____ 王国
 - c _____ 王国
 - d _____ 王国
 - e _____ 王国
 - f _____ 王国
 - g _____ 王国
 - h _____ 人
 - A _____ の戦い

2 次の地図中の a～d の王朝名または国名, ①～④の都市名を書け。

▼カール大帝の帝国



- 2**
- a _____ 王国
 - b _____ 朝
 - c _____ 朝
 - d _____ 帝国
 - ① _____
 - ② _____
 - ③ _____
 - ④ _____

3 次の地図中の3国の成立にかかわったa・bにあてはまる条約の名称を書け。

▼ a 条約(843)



▼ b 条約(873)



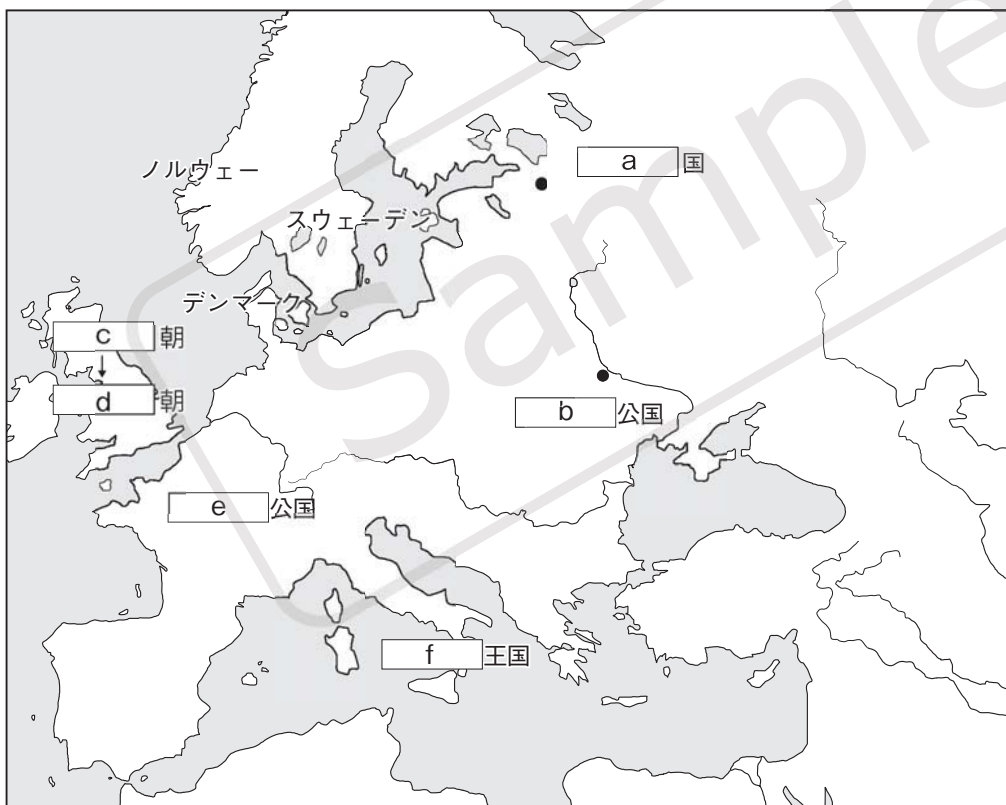
3

a 条約

b 条約

4 次の地図中のa～fにあてはまる王朝または国家名を書け。

▼ノルマン人の国家



4

a 国

b 公国

c 朝

d 朝

e 公国

f 王国

演 習 問 題

1 ゲルマン人の大移動

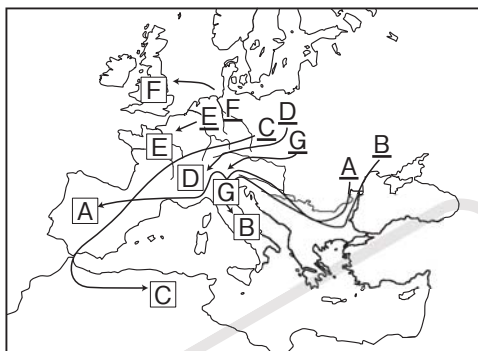
4世紀後半、アジア系遊牧民(ア)人が西進し東ゴート人を制圧すると、これに圧迫された(イ)人がローマ領内に移動し、ゲルマン人の大移動が開始された。以後、

① ゲルマン諸部族があいついで移動したが、この混乱の中で、西ローマ帝国はゲルマン人傭兵隊長(ウ)によって滅亡した。しかし、(ウ)の国も長続きせず、間もなく

② 東ゴート王国によってとってかわられた。

① 右の地図中のA～Gのゲルマン人の国名を答えよ。

② この国を滅ぼしたのは誰か。



1

ア	
イ	
ウ	
①	A
	B
	C
	D
	E
	F
	G
②	

2 フランク王国の発展

5世紀末、メロヴィング朝を開いたフランク人のクローヴィスは、① 正統派のキリスト教に改宗した。以後、フランク王国とローマ教会は提携していくこととなる。その後、

フランク王国では宮宰カール＝マルテルが実権を握り、② 732年イスラーム軍を破った。その子ピピンは王位につくとカロリング朝を開き、ランゴバルド人を討ってラヴェンナ

地方を奪い、③ ローマ教皇にその地を寄進した。この関係はピピンの子カール大帝によってさらに進められ、④ ローマ教皇は800年、カール大帝にローマ皇帝の帝冠を授けた。

しかしカール大帝の死後、フランク王国は843年のヴェルダン条約、870年のメルセン条約によって、東フランク・西フランク・イタリアの3国に分裂した。東フランクでは、

オットー1世が侵入した⑤ アジア系民族を撃退して、⑥ 教皇から帝冠を受けた。西フランクでは、

パリ伯のユーグ＝カペーが王に選ばれカペー朝が成立したが、王権は弱かった。イタリアでは、諸侯・都市が分立し、分裂状態が続いた。

- ① 正統派のキリスト教のことを何というか。
- ② この戦いを何というか。
- ③ ローマ教皇に寄進された土地は、この後何とよばれたか。
- ④ このローマ教皇は誰か。
- ⑤ このアジア系民族とは何か。
- ⑥ このことによって、東フランク(ドイツ)は何とよばれるようになったか。

2

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

3 ノルマン人の活躍

ノルマン人に関する次の①～④の文を年代順に並べよ。

- ① ルジジェーロ2世は南イタリア・シチリア島に両シチリア王国を建国した。
- ② ロロに率いられた一派が北フランスにノルマンディー公国を建国した。
- ③ リューリクに率いられた一派(ルーシ)はノヴゴロド国を建国した。
- ④ ノルマンディー公ウィリアムは王位継承を主張してイングランドに侵入・征服し、ノルマン朝を創始した。

3

→ → →

4 封建社会の成立 西ヨーロッパの封建制度に関する説明文として、誤っているもの 4

を次のうちから一つ選べ。

- ① 恩貸地制と従士制度が結合して成立した。
- ② 領主は不輸不入権をもっていた。
- ③ 主従関係は家族的で、家臣の君主に対する独立性は弱い。
- ④ 君臣双方の義務は双務的である。

--

5 教会の権威 次の文の空欄に適語を入れよ。

西ヨーロッパで、封建社会が形成、確立されていく中で、ローマ=カトリック教会は着実にその力を伸ばしていった。その結果、聖職売買や教会の世俗化など様々な弊害が生じた。これに対して11世紀以降(①)修道院を中心に教会改革運動がおこった。この精神を受け継いだ教皇(②)は聖職売買を禁止し、聖職叙任権を手中におさめようとしたため、神聖ローマ皇帝(③)との間に激しい争いがおこり、教皇の破門に対して皇帝は謝罪した。この事件のことを(④)という。そして1122年の(⑤)協約で、皇帝は聖職叙任権を失った。こうして教会の指導権は確立し、教皇権は13世紀の(⑥)のとき絶頂に達した。

5

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

6 ビザンツ帝国の繁栄と衰亡 次の文を読み、下線部①~⑦についての設問に対する解答を各語群から選び、記号で答えよ。

西ヨーロッパが次第に1つの文化圏としてまとまりかけたころ、東ヨーロッパでは①コンスタンティノープルを首都とするビザンツ帝国が独自の世界をつくっていた。この帝国は政治的には②ユスティニアヌス大帝の時代に全盛期を迎えた。大帝は外征により一時は③イタリアや④北アフリカなど、地中海周辺においてローマ帝国の旧領の大半を回復し、国内では『ローマ法大全』をつくらせ、首都に⑤(A)を建立した。その後国内では⑥聖像破壊をめぐる対立が続き、外では長期にわたりアジアの諸民族と抗争を続けた。また帝国は第4回十字軍により首都を奪われるという事態に陥り、首都を取り返したとはいうものの、その後、⑦オスマン帝国軍の攻撃を受けて滅亡した。

6

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

- ① この都はどこの海または海峡に面しているか。

ア 黒海 イ ボスフォラス海峡 ウ ダーダネルス海峡 エ アドリア海

- ② この時代は何世紀か。

ア 4世紀 イ 5世紀 ウ 6世紀 エ 7世紀

- ③ 当時イタリアに存在したゲルマン人国家は次のどれか。

ア ヴァンダル イ 西ゴート ウ 東ゴート エ ランゴバルド

- ④ 当時北アフリカに存在したゲルマン人国家は次のどれか。

ア ヴァンダル イ 西ゴート ウ 東ゴート エ ランゴバルド

- ⑤ (A)とは次のどれか。

ア シャルトル大聖堂 イ サン=マルコ寺院

ウ ハギア=ソフィア聖堂 エ 聖ビート教会

- ⑥ 聖像禁止令を出した皇帝は誰か。

ア レオン3世 イ グレゴリウス1世 ウ ルイ9世 エ オットー1世

- ⑦ これは何年のことか。

ア 1414年 イ 1453年 ウ 1455年 エ 1479年